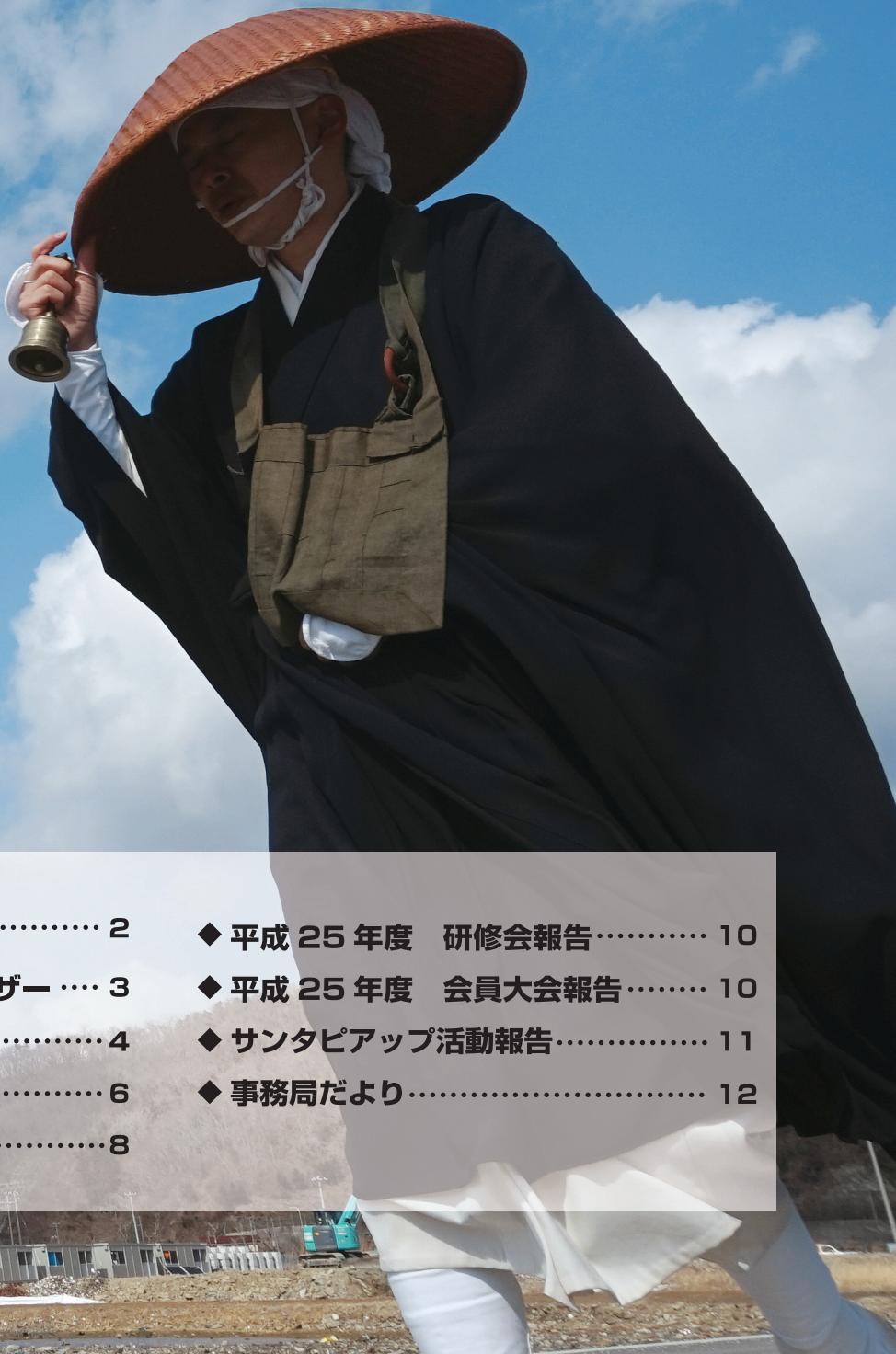


新 聞

第68号



- ◆「他は是吾にあらず」
会長 天野 大真 2
- ◆平成 25 年度 チャリティバザー 3
- ◆平成 25 年度 傾聴活動報告 4
- ◆平成 25 年度 慰靈行脚報告 6
- ◆東日本大震災 あの日から 8

- ◆平成 25 年度 研修会報告 10
- ◆平成 25 年度 会員大会報告 10
- ◆サンタピアップ活動報告 11
- ◆事務局だより 12



会長挨拶

他は是吾にあらず

第23期会長 皆傳寺 副住職
天野 大真

震災から三年がたちました。ある仮設住宅にお住まいの御婦人が語っていた言葉が思い出されます。「風化はあり得ない、年数が経つほど失った家族、家、いろんな事を思い出しそのことしか考えられなくなる」と。

たくさんの皆様のお力を借りしながら、宮曹青会員の一人として、一人の僧侶として自分に出来ることをこの一年考え方活動して参りました。変わつていく景色とそして変わらない景色を窓越しに見つつ、海沿いの土地へ車を走らせる日々はあつという間というにはあまりにも重く、焦りと緊張にあふれた一年でした。

今期の宮曹青では、『他は是吾にあらず』を行つことを、青年僧侶としての使命として被災された方に寄り添う支援を続けて参りました。当初、菩薩行の実践として復興支援活動を行つことを、青年僧侶としての使命として考へ活動して参りましたが、この一年を通じて改めて感じたことは、僧侶としての自覚と生き方を育てて下さったのは、傾聴活動でお話させて頂いた皆様であり、行脚の際に遠くから手を合わせて下さる住民の皆様であることを痛感いたしました。そして、およそ延べにして十七箇所一四八名の会員の皆様がこの一年、仮設住宅での傾聴活動に参加し、住民と共に笑い時には涙を流しながら同じ時を過ごさせていただきました。『仏一息』の活動は今期の重要な活動の一つとして今後も継続して参ります。

研修会では、七月に社会福祉協議会と全曹青から講師をお招きし、震災時に於いて僧侶は何をなし得ることが出来るのかについて会員の皆様と考えました。三、一以降、僧侶としてのいままでの在り方、役割、社会との

関わりなどを真剣に問い合わせることが緊急の課題となつた現在、今回の研修会は当にそれぞれの問題意識を確認しあう大変良い機会になりました。

次に十一月に開催致しました第一回研修会

では、福島県飯舘村の酪農家長谷川健一さんをお招きし「生きる権利を奪われた飯舘村の今」と題し講演を頂きました。被爆といつ目に見えない恐怖と対峙し、福島の方々を「フクシマ」と特別視する事態が予想されることを危惧する長谷川氏の声を同じ東北の隣県に住む青年僧として胸に刻み、広く語り継いで参ります。

昨年十一月の会員大会の折に早坂文明老師は「ボランティアを行うときに一番重要なことは想像力であり、継続すること。継続するためには楽しくなくてはならないし、肩肘をはらず大らかな視点を持つことが大事です。」と教えて下さいました。このお言葉は、被災地の青年会としてつい力んで独りよがりになりがちな活動を反省し、支援させていただく我々の姿勢を考えるきっかけとなりました。また、継続することの大切さは、国のほとんどを焦土と化し、明日への希望も文字も失ったカンボジアが、サンタピアップの二十年の活動の軌跡と共に、少しずつであれ着実に復興しつつあるという事実が何よりもその可能性を証明しています。

そして、今春十七校目の贈呈となつたテピアロン小学校の児童の皆様がカンボジアの素晴らしい未来を築くことを心から期待致します。

宮曹青の活動は創立以来かつてないほどの頻度と内容になつております。これまでの伝統的な行事に加え、復興支援活動などを併せるとほぼ毎月のようござ参加を呼びかけさせていただいている状態であり、師範寺のお師匠様をはじめ寺族の皆様に大変なご負担をおかけしている

ことに対し誠に申し訳なく、いつも私たちの活動を支えてくださる事に衷心より感謝申しあげます。震災で失つたものの、得たものとのことを考えたとき、いつも頭にながれる歌があります。以下訳詞です。

私が覺えている場所がある

人生の中でいくつかの場所は変わつてしまつたし永遠に良くならない場所もある

いくつかは無くなつてしまつたし、まだ残つてゐる場所もある

全ての場所には思い出があり

恋人や友人達と一緒に思い出す事が出来る死んでしまつた人もいるし、生きている人もいる

人生の中で、私はそれら全てを愛している

ビーチルーズの[In My life]の一節です。苦しいことも悲しいこととむすべて私の人生、決して忘れるとは無いけれど、新しく出会いを活動を反省し、支援させていただく我々の姿勢を考えるきっかけとなりました。また、継続することの大切さは、国のほとんどを焦土と化し、明日への希望も文字も失つたカンボジアが、サンタピアップの二十年の活動の軌跡と共に、少しずつであれ着実に復興しつつあるという事実が何よりもその可能性を証明しています。そして、今春十七校目の贈呈となつたテピアロン小学校の児童の皆様がカンボジアの素晴らしい未来を築くことを心から期待致します。

最後になりますが、県内御寺院様、教区青年会様、会員各位、そしてすべての寺族の皆様のご理解ご協力に心から御礼申しあげます。そして今後ともなお一層のお力添えをお願い申しあげ、巻頭のご挨拶とさせていただきます。

カンボジア教育支援

平成二十五年度チャリティーバザー開催

ボランティア委員長 小枝 誠智

カンボジア教育支援

チャリティーバザー総括

平成二十五年九月十七日(火)第19回目となるカンボジア教育支援チャリティーバザーを村田町中央公民館を会場に開催致しました。(第5教区様管内)台風の中での前日搬入作業などありましたが、当日は快晴に恵まれ、四六〇名もの来場者を迎えることが出来ました。

県内御寺院様から寄せられた物品は約四、七六〇点。売上は一、一二七、一〇〇円となりました。また会場に設置した募金箱には四四、〇〇四円の募金を頂戴いたしました。今回の売り上げや募金をはじめ、これまでに集めさせて



今年もたくさんのご来場を頂きました



人気の品はすぐに完売

特に奥野顧問には的確なご助言とご指導を戴きましたおかげで無事に終えることが出来たと思っております。村田町中央公民館を会場にご推薦戴したこと、地元活動団体様をご紹介戴きましたこと、地元企業様への協力の呼び掛けを戴きましたこと、新聞折り込み等の広告など、隅々までご配慮戴きました。また、ポスターを作成し地元御寺院様をはじめ、多くの場所に掲載させて戴ったおかげで当日は四六〇名もの来場者を迎えて、大盛況となることが出来ました。

次回は20回目のチャリティーバザーとなります。委員とともに、新しいことにも挑戦してまいりたいと思いまます。また、カンボジアの国と子供たちへご支援を頂戴しながらも、国内においては東日本大震災からの復興、国内外の災害等への支援に対して、違う形での支援体制や資金の調達を模索していかなければと思います。

まずは、皆様よりお寄せ戴きましたご厚意に感謝申し上げますとともに、共に支え合うという想いを膨らませた皆様のお気持ちを噛み締めてカンボジアに届けてまいりたいと思います。

ボランティア委員長感想

カンボジア教育支援チャリティーバザーは、委員長として初めて経験させて頂く宮曹青事業最大のイベントです。また宮曹青事業の主軸となる活動ですので、大きな不安と責任を全うしなくてはというプレッシャーがのしかかってまいりました。

多くのご足労を役員・事務局・会員の皆様にお掛けしたと思いますが、第5教区の皆様には大変な準備等をお願いし、実行して頂きましたこと深く御礼申し上げます。



前日準備風景



ボランティア委員長 小枝師

ほつとひといき 傾聴行茶活動「仏一息」総括



傾聴行茶活動「仏一息」は今期から始まつた新しい活動となります。初めての試みでしたので、コンセプトや形作りをどうするか、最初に考えました。住民の方々のコミュニケーションの場、交流の場として、またホッと一息つくことができる憩いの場として活用していくだけないかと思いネーミングを思つきました。

実際活動してみて、やり方を変更してみたり、アイデアを試してみたりと手探りでの活動だつたと思ひます。参考された会員からのアドバイスやアイデアを取り入れ、大規模仮設で試みました。演奏会や小規模仮設での心ばかりの抹茶のお給仕など多種多様に及びます。

傾聴行茶活動「仏一息」は、最初に考えました。住民の方々のコミュニケーションの場、交流の場として、またホッと一息つくことができる憩いの場として活用していくだけないかと思いネーミングを思つきました。

実際活動してみて、やり方を変更してみたり、アイデアを試してみたりと手探りでの活動だつたと思ひます。参考された会員からのアドバイスやアイデアを取り入れ、大規模仮設で試みました。演奏会や小規模仮設での心ばかりの抹茶のお給仕など多種多様に及びます。

なられた会員もおられたかと思います。活動を通して、住民の方からの仏教に対する一般的なご質問に対し、答えを躊躇したり、写経や御詠歌の意味など、簡単な解釈にお答え出来ない若い会員が、先輩にお伺いをすが佛教の教えや宗門の教義に当てはまりてているのか不安があつたのかと思ひます。今後の課題としては一つとては個

平成 25 年

- ・6月29日(土) 多賀城市 公園野球場仮設(45名) 中学校仮設(10名)
会員21名 婦人会3名 【計24名参加】『行茶・写経・写仏・数珠・うちわ絵』
- ・7月5日(金) 多賀城市 山王仮設(20名) 高橋仮設(14名) 城南仮設(16名)
会員20名 婦人会3名 【計23名参加】『行茶・写経・写仏・数珠・うちわ絵』
- ・7月21日(日) 仙台市 日辺グラウンド仮設(35名)
会員8名参加 『行茶・写経・写仏・数珠・うちわ絵』
- ・10月30日(水) 仙台市 日辺グラウンド仮設(30名)
会員16名参加 『行茶・焼き出し・写経・写仏・数珠・匂い香袋』
- ・11月15日(金) 多賀城市 城南仮設(17名) 公園野球場仮設(35名)
会員13名参加 『行茶・焼き出し・写経・写仏・数珠・匂い香袋』
- ・11月25日(月) 登米市 南方仮設(86名) エレクトーンコンサート開催
会員18名 寺族会2名 【計20名参加】『行茶・焼き出し・写経・写仏・数珠・匂い香袋』
- ・12月5日(木) 石巻市 押切沼仮設(32名)
会員17名参加 『行茶・焼き出し・写経・写仏・数珠・匂い香袋』

平成 26 年

- ・2月6日(木) 石巻市 町北第3仮設(8名) 役場前仮設(16名) 前山仮設(58名)
会員23名参加 『行茶・焼き出し・写経・写仏・数珠・匂い香袋』
- ・3月7日(木) 多賀城市 山王仮設(13名) 高橋仮設(7名) 中学校仮設(7名)
会員12名参加 『行茶・焼き出し・写経・写仏・数珠・匂い香袋』



傾聴行茶活動委員長感想

委員長としては皆様への伝達や指示など不慣れなためご迷惑をおかけいたしましたが、一人孤独な準備と片付けを傾聴行茶活動の開催ごとに行つてまいりました。

事前打ち合わせやご挨拶、ボスティングなど動いて頂きました会長をはじめ、事務、連絡案内を行つて頂きました事務局長、その他、教区御寺院様、寺族会様、婦人会様、そして裏方として各仮設の担当にあたつて頂いたボランティア委員の皆さまのお力添えのおかげであると感謝申し上げます。

最後に青年会に属する一人の僧侶として、参加された会員の皆様の傾聴やお話しの技術の向上、僧侶としての資質の向上、地域の皆様とのご縁作りに役立つことが出来れば幸いに思います。



2教区 国分尼寺
ボランティア委員長
小枝 誠智

♪ボランティア委員として傾聴活動参加して♪ 【各委員の感想】

私は、平成二十五年度より宮曹青の活動に参加させていただいております。

傾聴活動は、実際に参加してみると、普段の何気ない世間話をしているだけで、話し相手になって聞いているだけで、皆さんの顔が笑顔になつっていました。「仮設では隣人に気を使って大きな音、声が出せないんだよ」と仮設集会所ではみんなで一緒に大声で笑つたり出来て良いんだと話されていましたが印象的でした。

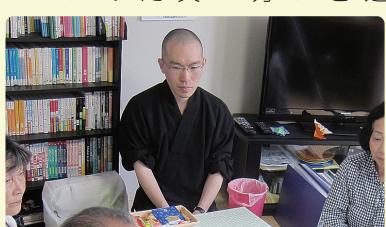
やはりこの様な機会があればコミュニケーションも取れて普段の生活も円滑に過ごせると感じました。「また来てね」という言葉が傾聴活動終了時に言つていただけるので良かったなーと思うところが正直な感想です。



15教区 金秀寺
酒井 禅悦

ボランティア委員として青年会の活動に参加して、諸先輩方にお世話を積ませていただき事ができ、貴重なものと改めて感じております。

委員会では仮設住宅の訪問傾聴活動をさせて頂いておりますが、地元の檀家の方々が居られる仮設住宅に行く機会を持たせて頂きました。これまでお檀家さんにはお伺いさせて頂くことはありましたが、自坊の檀家さんに限らず「あそこのお寺さんの若い方丈さんが、云々」いう言葉をかけて頂けることもあります。ある方から「こんな話誰にもできないよね」と言われ、震災後の辛い思いを聞かせていただいたことがあります。誰にも話せない話でも、僧侶という立場だから話せる事もあります。傾聴活動に参加して、僧侶が傾聴活動を行う意義を感じたと共に、まだまだ不安定な状況の方も多く、今後も継続して行つて必要性を強く感じました。



宮曹青には昨年度から参加させていただいておりますが、個人ではできない活動の場を提供していただけることをとても有難く思ひます。微力ながら今後も尽力していきたいと思います。

13教区 照源寺
三宅 大哲

ボランティア委員として青年会の活動に参加して、諸先輩方にお世話を積ませていただき事ができ、貴重なものと改めて感じております。

委員会では仮設住宅の訪問傾聴活動をさせて頂いておりますが、地元の檀家の方々が居られる仮設住宅に行く機会を持たせて頂きました。これまでお檀家さんにはお伺いさせて頂くことはありましたが、自坊の檀家さんに限らず「あそこのお寺さんの若い方丈さんが、云々」いう言葉をかけて頂けることもあります。ある方から「こんな話誰にもできないよね」と言われ、震災後の辛い思いを聞かせていただいたことがあります。誰にも話せない話でも、僧侶という立場だから話せる事もあります。傾聴活動に参加して、僧侶が傾聴活動を行う意義を感じたと共に、まだまだ不安定な状況の方も多く、今後も継続して行つて必要性を強く感じました。

宮曹青には昨年度から参加させていただけておりますが、個人ではできない活動の場を提供していただけることをとても有難く思ひます。微力ながら今後も尽力していきたいと思います。



1教区 昌林寺
松山 宏成

災地慰靈行脚報告

や地域の安心を願い「慰靈行脚」を県内3カ所で修行しました。
県曹青会会員様にも御隨喜賜りました。

勝地区慰靈行脚

大川小学校にて遺族会主催
名参加。



地区



中、行脚



雄勝地区

平成25年12月1日

南三陸町慰靈行脚

南三陸町の戸倉・志津川・歌津方面を行脚の後、あさひ幼稚園にて復興祈願法要。15教区様と共に。曹洞宗宗侶35名参加。



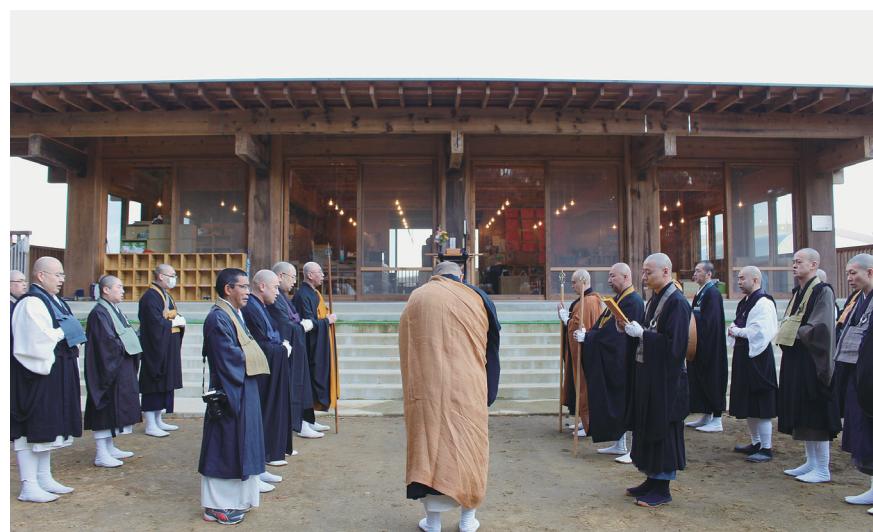
志津川地区



戸倉地区



歌津地区



あさひ幼稚園での復興祈願法要

東日本大震災被災

平成25年度も震災で亡くなられた方々の御靈とご遺族の方
正会員のみならず県内御寺院様、他

平成26年3月11日

名取市閑上地区慰靈行脚

閑上地区行脚の後、4教区東禪寺様にて慰靈法要。4教区青年会主催事業に随喜加担。曹洞宗宗侶22名参加。



2時46分、閑上中学校にて黙祷



閑上地区



慰靈法要 導師 東禪寺御住職

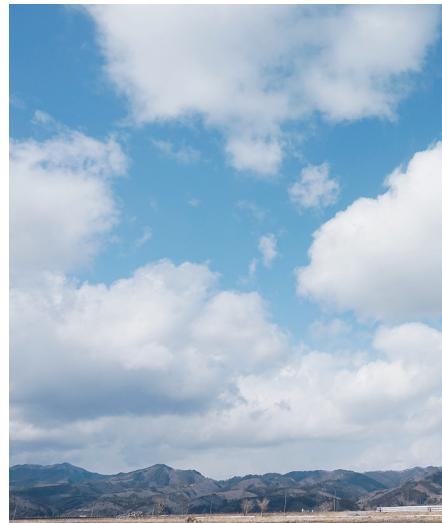


東禪寺本堂前にて

平成26年3月11日

石巻市大川・雄

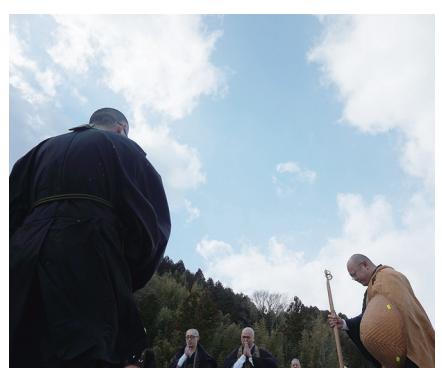
雄勝、大川地区を行脚の後、
慰靈法要に随喜。曹洞宗宗侶31



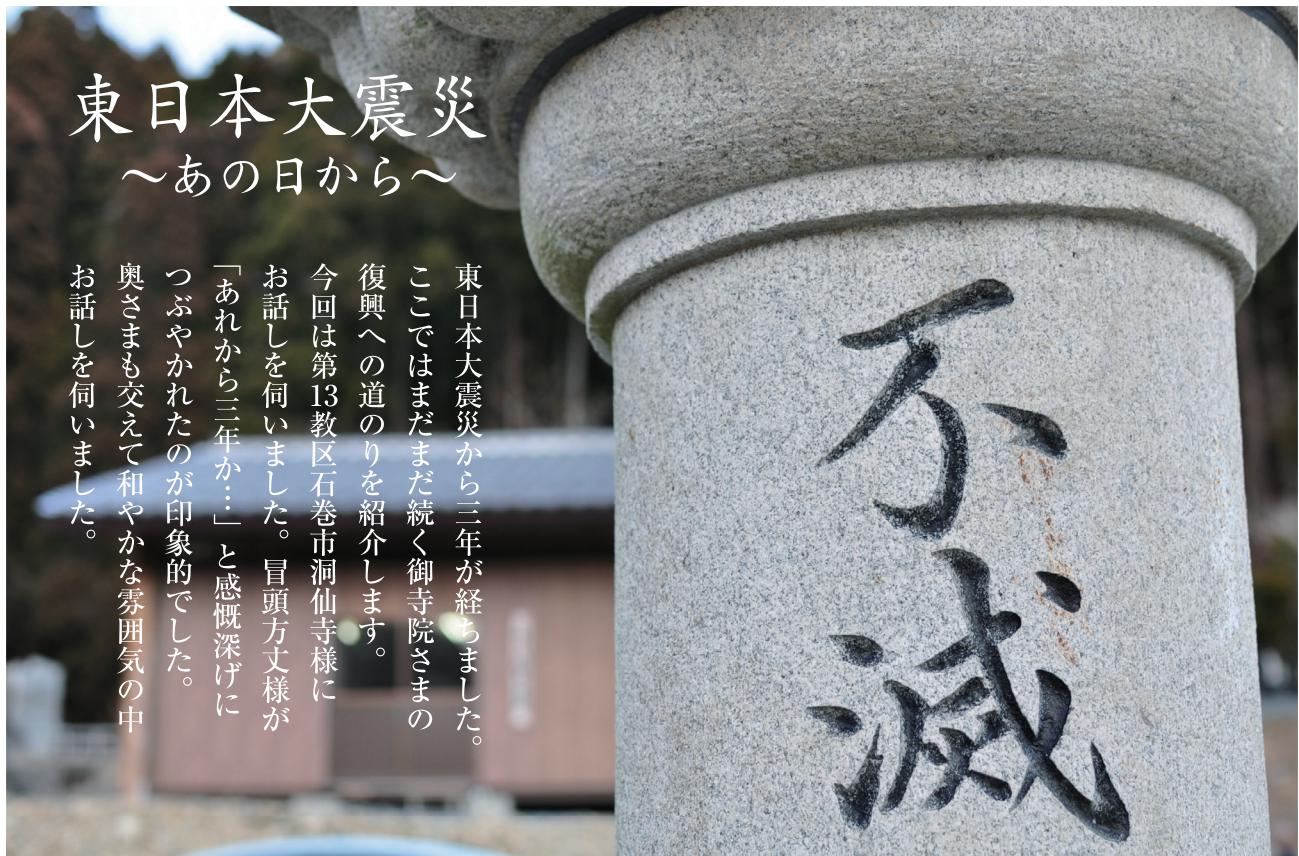
大川



強風の



慰靈碑前にて法要



震災前の本堂



震災後の倒壊した本堂

東日本大震災から三年が経ちました。ここではまだまだ続く御寺院さまの復興への道のりを紹介します。今回は第13教区石巻市洞仙寺様にお話しを伺いました。冒頭方丈様が「あれから三年か…」と感慨深げにつぶやかれたのが印象的でした。奥さまも交えて和やかな雰囲気の中お話を伺いました。

震災前

この地域は漁業で栄えた町で特に牡蠣養殖が盛んな場所でした。

「桃浦の牡蠣」としてブランドを確立し、最盛期では浜に住む半数の住民が牡蠣養殖業を営んでおりました。

寺の事業としては法要会館、庫裡を新築し地域の人達にたくさん利用頂いておりました。やつと落ち着いてきた矢先に震災となりました。

震災当日 被害状況

地域一帯が津波により被災し本堂、庫裡、法要会館、寺の建物すべて流出しました。墓地も甚大な被害を受けました。檀家さんの八割以上の家屋が被災し十六名が犠牲になりました。

当日はたまたま寺におりませんでしたが、寺が地域の指定避難所になっていたので皆集まつていたら犠牲者が増えていたかもしがれません。

ー たくさんの方からのご縁

本当にたくさんの方とのご縁を頂きました。



仮設の本堂を宗務庁からご提供頂きましたので、檀務や檀家さんとの接待に活用させて頂き、梅花講もいち早く再開することが出来ました。寺らしくしようと思

い、以前の本堂の資材を使い屋根を設置し、壁も加工して須弥壇を設えました。

ー 寺の復旧

檀家さんはまずは墓地の復旧を強く望まれましたので、何とか業者さんに頼んで墓地を復旧しました。避難所に二ヶ月半もいたので情報が無く他の地域よりも復旧が遅かったのか分かりません。行政に入つて頂いてやつと片付きました。その後色々なボランティアの方や団体にご支援を頂きました。

大学の建築学科の先生からも「コアハウス」の設置のお話を頂き事務室として活用させて頂いております。

本堂の瓦は今後本堂を再建する際に利用できるよう保管をしており本堂再建事業「瓦に願いを」を行っております。

また、境内で無傷で見つかった観音さまを奉安するお堂を建てる「見まもり観音堂」建設事業も他団体の方々が推進しております。

たさんのご縁を頂いて本当にあります。

ー 住職がこの地へ住む意味

この地域は居住区にはならないため住民はばらばらになってしまった。現在は自分たちも石巻市内の借り上げ仮設住宅に住んでいて寺まで通つておりますが、今年の盆まではここに住めるようになります。

現在計画をしております。

ここにいた住民は仕方なく住めなくなつたとはいえ、複雑



本堂再建を待つ瓦



な思いで離れて行つたと思ひます。この地を離れたことにどこか罪悪感があると思うのです。ご先祖様が眠る故郷に、住職が住んで護ってくれる。それがお檀家さんの安心に繋がるのではないかと思います。そこからこの地域のいろんな事ができていく、繋がっていくと感じております。

まずはここに自分たちが定住するということが切なる願いです。

平成二十五年度 第二回 研修会報告

平成二十五年十一月十二日、今年度第二回目となる研修会を仙台市林香院様を会場に開催しました（参加者一十九名）。講師として福島県飯館村前田区行政区長をお務めの長谷川健一さんをお招きし「生きる権利を奪われた飯館村の今」と題し講演を頂戴しました。

研修会では、住み慣れた故郷から無理矢理引きはがされた思い、そして報道では語られなかつた真実を率直に語つて頂きました。原発の影響で搾乳しては廃棄する毎日を送らなければならなかつた酪農家としての苦悩、行政とのやり取りで屠畜せざるを得ない状況に迫られた経緯や、乳牛と家族の涙を流しながらの別れ、震災前お話を頂き、今後更に自死が懸念される状況を問題提起されていました。

今回の研修会では、同じ東北の隣県に住む青年僧として、いまこの時に福島の状況を胸に刻み語りつぐことの重要性を強く意識し、現地研修を行いたいという青年会の計画があることから、福島に行く事前の準備段階として今回の研修会の運びとなりました。今後宮曹青の活動を展開するにあたり、長谷川健一さんの命の言葉をしつかりとこの胸に刻み、僧侶として、青年僧として何が出来るかを考えていけたらと思いました。

研修委員長 神作 紹道



平成二十六年一月二十八日、仙台市ホテルグランテラスにて「平成二十五年度 会員大会」が開催されました。

第一部の研修会ではこれまで培ってきたボランティア活動を振り返るとともに、原点に立ち戻り、各会員のボランティア精神の養成とボランティア活動の根本的な意義を明確にすることを目的とし、講師に山元町徳本寺御住職早坂文明老師をお迎えし「歌うようにボランティア」と題して御講演を頂戴しました。



講演ではボランティア活動を行うにあたつて具体的な目標や想像力を持つこと、一度きりではなく継続して行うこと、続けていくには楽しくなくてはならないことをお話し頂き、使命を果たすといつた考えではなく、気を樂にすることを教わりました。その中で歌（歌詞）を活用すること、『日々行うことが、ボランティアであり、布施行である』というお言葉にボランティア活動の根本を考えさせられました。参加者七

十一名をはじめ我々青年僧の進むべき方向を指し示して下さったように感じました。

その後の第二部ボウリング大会、第三部懇親会では八十名を超える参加者があり、会員相互の親睦を深め、終始和やかな雰囲気の中盛会裏に終了しました。

ボランティア委員長 小枝 誠智
交流事業委員長 永松 泰樹

平成二十五年度 会員大会報告



サンタピアップみやぎ ボランティア会

新校舎「テピアロン小学校」を寄贈

「カンボジアスタディツアー開催」

●平成二十六年三月三十日～四月四日

●参加者十四名（宮曹青正会員）

小学校を贈呈させて頂くことが出来ました。支援校は、テピアロン小学校（カンボジア王国バッタムバン州）。全国の御支援者様の代表として十四名がカンボジアに赴き、新校舎等の贈呈、交流会、並びに現地カンボジアの視察を行います。

「平成一十五年度支援内容」

一棟三教室校舎・祠・トイレ・貯水タンク・図書・文房具・スポーツ用品等

※詳しくは、後日発行致します事業報告書にて皆様にお伝えしますとともに、サンタピアップ総会時の報告会では、映像を交えて現地での様子をお伝え致します。

「カンボジアフェア in SELVA」報告

●日時：平成二十五年十二月十九日～二十日

●会場：仙台市泉区中央

●来場者：約八十名
(一日間延べ)



【クラフト販売】…… 売上合計 八三三、一〇〇円

【カンボジア洪水被災者支援募金】……

募金合計 四四、六一八円

【古本・CDなど】…… 沢山（換金額計一、四八〇円）

「もったいない」そのところが、子供たちの明るい未来につながる

「ハガキリサイクルキャンペーン」報告

●日時：平成二十六年二月二十四日～二十五日

●会場：サンタピアップ事務局（石巻市浄音寺内）

●集計作業：三十三名参加（二日間延べ）



あの頃、大切にしたこの本をもう一度役立たせたい・・・
私たちにお譲り下さい!!

『古本・CDリサイクル』による支援

●皆様のご家庭にある、漫画や文庫本・CD・DVD・ゲームソフト等の買い取りをBOOKOFF（ブックオフ）の宅便（無料集荷）を利用して、インターネット上で依頼してお提供頂きます。

●ご提供商品の集荷をご依頼する際、商品の買い取り額の入金先口座を当会の口座に指定することで、当会への寄付（支援）金となります。

ご提供下さいます方は、インターネットで「ブックオフ集荷」で検索、ご依頼下さいますようお願い致します。
ご提供下さった方には、後日お礼状と領收証を発送させて頂きますので、お手数ですが当会事務局宛まで電子メール、又はお電話にてご提供者のさまの発送情報をお知らせ下さい。

指定口座『ゆうちょ銀行』

記号 18110

□座番号 05490731

名義 サンタピアップみやぎボランティアカイ

【書き損じハガキ・切手の送り先】

〒九八六一〇一九九 石巻市相野谷字五味前一ー七一ー

河北郵便局留『サンタピアップ』宛

【支援金の送り先】

郵便振替口座

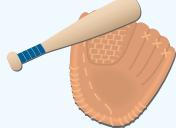
名義 サンタピアップみやぎボランティア会
□座番号 0229016148744

【サンタピアップ事務局】

〒九八六一〇三〇三
石巻市桃生町永井字仁田森二二三 浄音寺内
TEL・FAX 〇二二五一七九一三〇〇三（専用）
E-mail : info@santapi.com
ホームページ : <http://www.santapi.com/>

曹洞宗宮城県宗務所・宮城県曹洞宗青年会 共催 平成26年度ソフトボール大会開催のお知らせ

【場所】富谷町総合運動公園グラウンド
【日時】平成二十六年五月二十七日(火)
午前九時 開会式、午前十時 試合開始
※詳細は後日事務局よりご案内致します



平成二十二年の雨天による試合中止以来、四年ぶりとなるソフトボール大会を開催させて頂きます。スポーツを通した交流はもちろんのこと、復興への希望とともに分かちあい、僧侶と業者間の垣根を越えた宮城のつながりを目指します。

なるソフトボール大会を開催させて頂きます。スポーツを通した交流はもちろんのこと、復興への希望とともに分かちあい、僧侶と業者間の垣根を越えた宮城のつながりを目指します。

事務局だより ～今後の予定～

◆定例総会

日時…四月二十二日(火)午後四時
場所…ホテルニューウエスト

◆ソフトボール大会

日時…五月二十七日(火)午前九時
場所…富谷町総合運動公園

全国曹洞宗青年会

◆全曹青四十周年記念式典

日時…五月二十日(火)午後二時
場所…曹洞宗檀信徒会館三階 桜の間

◆パネルディスカッション

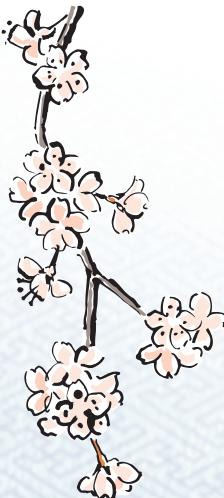
日時…五月二十一日(水)午後三時三十分
場所…曹洞宗檀信徒会館三階 桜の間

◆青山俊董老師記念講演会

日時…五月二十一日(水)午前一時
場所…曹洞宗檀信徒会館三階 桜の間

◆全曹青定期総会

日時…五月二十一日(水)午前一時
場所…曹洞宗檀信徒会館三階 桜の間



表紙写真
無聖 第68号 (平成26年3月31日発行)



東日本大震災
大川地区慰靈行脚
(平成26年3月11日)

表紙題字 宗務所長 三宅良憲 老師
編集部 宮城県曹洞宗青年会
発行人 天野 大真
事務局 仙台市太白区門前町8-22
福聚院内

TEL・FAX 022-308-0043(専用)
URL <http://www.miya-sousei.com>
e-mail info@miya-sousei.com

広報編集に携わり一年が経ちました。未だに専門用語にはなじめませんが、参考書を片手にホームページを作成、管理運営をここまでやつてまいりました。管理をしていると何の単語で検索し宮曹青のホームページを訪れたかが表示され、何が求められているかを知る事も出来、且つ大変興味深い想いです。検索は「石巻」「大川小学校」「ボランティア」等の震災関連で訪れる方が多いようですが、中には「曹洞宗お経」「写経」「供養意義」等、一般の人が疑問を持たれたと思われる単語も散見されます。今後は広報のみではなく広く役立つ活動を目指し進めて行きたいと思います。

(広報編集委員長 清水大伸)

編集後記

